

農林漁業のうごき

京都府 No.198 令和7年



農林水産業を 横断した視点で担い手を育成 ～分野横断インターンシップを開催～



農業、林業、漁業の現場を一度に見学・体験できるインターンシップを開催
(関連記事 P6)



デジタル版は
コチラ

内 容

特集1	表彰・認定者紹介（農林水産業功労者・農山漁村伝承優秀技能・若手農林漁業者）	2~3
特集2	令和7年度補正予算の概要	4~5
特集3	「京都府農林水産業人材確保育成戦略」に基づく取組を始動しました	6
特集4	「京都府豊かな森を育てる府民税」の課税期間を延長します<第3期に向けて>	7
特集5	緊急銃猟制度が令和7年9月から開始しました	7
特集6	第77回関西茶業振興大会京都府大会を開催しました	8
特集7	「京都府スマート水産業推進協議会」を設立しました	8

トピックス

農作物の高温・渇水対策を支援しています／
25市町村173地域で「地域計画」が策定されました／ 林大祭とミニ学校見学会を実施!／
EKIspot KYOTO、大阪・関西万博で京都府水産物の魅力をPR!／
「食の安全と農林水産物生産の魅力」を開催!／
移住イベント「森を守り、山とともに生きる暮らし」を開催!／
KYOTO地球環境の殿堂「未来会議」にてワークショップを実施／
「海業」を通じて京都の新しい海の賑わいを創出／
3泊4日で京都の畜産業を知る畜産体験ツアーを開催! 9~11

シリーズ	第22回 農林水産技術センターの研究紹介 畜産センター／ 海洋センター	12
------	-------------------------------------	----

地域の取組	森林・林業体感ツアーで森のはたらきや木の魅力を伝えました／ 京都丹波の“こだわり畜産”をもっと身近に～魅力を発信するリーフレットを作成～／ 異常気象に負けない農業を目指して～黒大豆の安定生産を支える現地研修会の力～／ 高品質な水稻種子の生産を目指して／ 丹後管内関係機関の総力を結集し渇水対策に取り組む～浄化センターの放流水を農業用水に活用～／ 「丹後フルーツフェス」で丹後産フルーツと加工品をアピール 13~15
-------	--

シリーズ	府内各地の“いちおしの食”を味わおう!「食の京都TABLE」～第3回 道の駅 京都新光悦村～ 16
------	---

特集
1

農林水産業功労者・農山漁村伝承優秀技 ～令和7年度 京都府農林水

11月29日(土)、京都市伏見区の京都パルスプラザにおいて、京都府農林水産フェスティバル表彰式典を開催しました。この中で、多年にわたり、府内の農林水産業及び農山漁村の振興と発展に功労のあった方々や、農林水産業の経営改善や農山漁村地域の活性化に意欲的に取り組み、地域の担い手として期待される方々に表彰を行いました。また、同時に、農山漁村地域において伝統的に受け継がれてきた生産技能に優れた方々を農・山・海の「匠」として認定しました。

* 農林水産業功労者表彰 *

(敬称略)

経営改善に取り組まれ、他の模範となり農林水産業の振興・発展に顕著な貢献をした方々

浅井 清信／京丹波町	芦田 竜一／南丹市	石川 英明／宇治市
岩狭 正次／京丹後市	浦入 富雄・陽子／綾部市	岡井 文彦／久御山町
岡井 雄次／城陽市	佐藤 忠司／舞鶴市	谷口 成生／南丹市
西野 栄二／綾部市	弘田 美恵子／京都市	村上 敬貴・友／綾部市
山口 徳松／与謝野町	山田 晃嗣／八幡市	株式会社 丹後野村牧場／京丹後市
有限公司 やくの農業振興団／福知山市		

新品種開発・新事業開拓に取り組まれ、農林水産業の振興・発展に顕著な貢献をした方々

家城 俊昭／京丹後市	井上 多美子・文彦／久御山町	大槻 昭彦／福知山市
片山 里史／京丹波町	佐野 健次／京田辺市	高野 幸宏／京丹後市
中山 忠厚／向日市	野村 晋・奈峰子／綾部市	野村 政直・明美／京丹波町
引野 賢人／京丹後市	特定非営利活動法人 丹波漆／福知山市	

女性の地位向上のための活動に取り組まれ、農林水産業の振興・発展に顕著な貢献をした方々

一瀬 裕子／京都市	岸本 幸子／京丹波町
-----------	------------

団体の役員として団体の発展や、農林水産業の振興・発展に顕著な貢献をした方々

石崎 光二／木津川市	上原 久明／綾部市	倉 幹夫／伊根町
塚原 奈良彦／宇治市	角山 宏／綾部市	仲井 敏雄／京田辺市
中島 治／亀岡市	中坊 陽／井手町	村岡 繁樹／京丹後市
門河 孝夫／舞鶴市	安田 卓生／与謝野町	山内 健喜知／福知山市
山脇 安三／亀岡市	吉岡 政秋／京丹後市	

農山漁村における地域資源を活用した活動に取り組まれ、農山漁村の活性化に顕著な貢献をした方々

田宮 稔／京丹後市	土屋 勝／宮津市	日和 隆／福知山市
山野 勝彦／京丹後市	吉田 進／宮津市	
株式会社 ニッスイまぐろ伊根事業所／伊根町		株式会社 farmu labor 農希／綾部市
株式会社 RE-SOCIAL／笠置町		京丹波森林組合／京丹波町
農事組合法人 アグリくまざき／南丹市		養老水視組合／宮津市

農政課 総務係 TEL：075-414-4947

能・若手農林漁業者が表彰・認定されました 農山漁村伝承優秀技能認定式典～

* 農山漁村伝承優秀技能認定 *

(敬称略)

農山漁村地域において伝統的に受け継がれてきた生産技能に優れた方々

【農の匠】

大田 喜好／京丹波町 川勝 敏正／亀岡市
 竹村 貞治／京都市 長澤 勝美／綾部市
 中村 公子／亀岡市

【山の匠】

清水 良廣／向日市 細見 昌一／福知山市

【海の匠】

安原 和彦／舞鶴市

農産課 農業応援伴走支援係 TEL : 075-414-4957

* 若手農林漁業者表彰 *

(敬称略)

農林水産業の経営改善等に取り組み、地域の担い手として期待される方々

足立 佳貴／福知山市
 河畠 貴政／舞鶴市
 田口 洋輔／久御山町
 辻 航己／宇治市
 西田 圭佑／京都市
 平田 将海／綾部市
 藤原 幸生／伊根町
 森田 哲史／長岡京市

岡田 芳洋／京丹後市
 志賀 紗矢香／城陽市
 田中 忍・優子／南丹市
 中江 一泰／京丹後市
 西村 和晃／八幡市
 平林 克章／京丹後市
 堀元 淳志／京丹波町

川勝 儀一／南丹市
 高崎 則兎／京丹波町
 谷村 岳志／亀岡市
 中本 勇気／京都市
 日野 裕也／京都市
 藤本 和磨／京丹波町
 村田 翔一／久御山町

経営支援・担い手育成課 新規就業・人材育成係 TEL : 075-414-4912



受賞者からひとこと

農林水産業功労者表彰
株式会社 丹後野村牧場 様

この度は、名誉ある賞をいただきまして誠にありがとうございます。
 これもひとえに、関係者の皆様のご支援の賜物と感謝しております。
 今後とも、酪農を通じて府民の皆様に「安心・安全」で美味しい乳製品をお届けするとともに、京都府の畜産の振興に努めていく所存でございます。



受賞者からひとこと

若手農林漁業者表彰
村田 翔一 様

この度は、栄えある賞をいただき誠にありがとうございます。
 農業を未来につなぐため、僕ら若い世代が挑戦し続けることが使命だと考えています。今回の受賞を励みに、京都の農業の価値を高め、次の時代をつくる一員として全力で走り続けます。



特集
2

農林水産部 令和7年度補正予算の概要

長引く物価高騰、米国による関税措置や記録的な高温・渇水被害の影響により、厳しい経営状況にある農林水産業者や食関連事業者を支援するため、経営力向上に向けた取組への補助、府内産農林水産物を原料とする加工食品の販売促進に要する経費や、農林水産業の基盤整備に要する経費等として、令和6年度2月と令和7年度6月及び9月において、52億2,600万円の補正予算を計上しました。

令和6年度2月補正予算

〈物価高騰対策〉

■農林水産業経営基盤強化事業費 【3億2,500万円】

長引く物価高騰により、経営が厳しい状況にある農林水産業者等に対して、経営基盤強化に資する取組をソフトとハードの両面から実施することで、農林水産業者の経営強化を促進

■京都フードテック推進事業費 【6,350万円】

機能性加工食品等の開発拠点整備に向けて、知見を有する人材の育成と拠点の認知度向上のためのセミナー等の開催や、食関連事業者が実施する「京もの」の需要拡大に繋がる取組等を支援

■京都みどりの食料システム戦略推進事業費 【200万円】

化学肥料及び配合飼料価格の高止まりにより、耕種農家及び畜産農家の経営が引き続き厳しい状況にあることから、府内産肥料・飼料を安定的に生産・供給可能な体制の確立を支援

〈基盤整備〉

■農林水産業基盤整備事業費 【41億2,500万円】

農林水産業のイノベーションと安心・安全な地域社会を実現するため、生産基盤の整備や、農山漁村と森林の防災・減災対策を実施

■有害鳥獣総合対策事業費 【3億7,100万円】

野生鳥獣に対する侵入防止柵の設置を推進し、持続的な防除体制の整備を支援

■京のむらづくり推進事業費 【1,200万円】

農村型地域運営組織の形成に向けた地域の将来ビジョンに基づく調査、計画策定、実証等の取組を支援

■京都農人材育成強化事業費 【1,200万円】

就農後の経営発展のための生産基盤整備を支援

■森林環境譲与税事業費 【1,100万円】

航空レーザ解析による高精度な森林資源情報の整備や、関係者との円滑な情報共有を図るために森林クラウドシステムを構築

■農林水産業労働力確保対策事業費 【1,000万円】

農山漁村の高齢化・人口減少が進む中で、地域を維持できる環境を整備するため、農林水産業の枠に囚われない多様な担い手の確保・雇用を促進

■豊かな森を育てる府民税事業費 【600万円】

豊かな森づくりを推進するため、伐採後の再造林の促進支援及び府民参加による里山林の整備等を実施

■農林水産業人材確保育成戦略事業費 【350万円】

学生を対象にした経営のリスク管理等に関する研修、経営発展を目指す農林水産業者等を対象にした高度経営力習得のための講座を実施

■外来生物対策推進事業費 【300万円】

特定外来生物の新たな防除体系の確立に向けた実証を実施

令和7年度6月補正予算(冒頭(6月11日)提案分)

〈米国関税措置対策〉

■「京の酒」付加価値向上支援事業費……………【2,000万円】

関税措置の影響に加え、急激な生産コスト増に直面する酒蔵が今年度の新酒製造に着手する前段階から行う「京の酒」の付加価値向上の取組を支援

令和7年度6月補正予算(6月23日追加提案分)

〈物価高騰対策〉

■京もの食品緊急支援事業費……………【7,000万円】

長引く物価高騰等により、経営が厳しい状況にある食品加工業者に対して、府内産農林水産物を原料とする加工食品の販売促進を支援

■農林水産業経営基盤強化事業費……………【4,000万円】

長引く物価高騰や高温の影響により、経営が厳しい状況にある農林水産業者等に対して、経営基盤強化に資する設備導入を支援

令和7年度9月補正予算

〈高温・渴水対策〉

■農作物生産確保対策事業費……………【9,000万円】

高温・渴水被害の影響を受けた農業者の経営安定を図るため、土壤改良資材の購入経費支援など、農作物の収量・品質を維持する取組を実施

■渴水緊急対策事業費……………【5,000万円】

安定的な用水供給を確保し、水稻をはじめとした農作物の生産を維持するため、農業水利施設におけるポンプ整備への支援など、緊急的な渴水対策を実施

〈基盤整備〉

■有害鳥獣総合対策事業費……………【1,200万円】

ツキノワグマによる人身被害を未然に防止し、府民の安全確保のための体制を構築するため、鳥獣保護管理法改正により創設された緊急銃猟制度に係る取組を支援

農政課 経理係 TEL : 075-414-4948

京都府農林水産フェスティバルを開催しました！

府内産品への理解と関心を深め、消費拡大につなげることを目的に、令和7年11月29日(土)、30日(日)に、京都府総合見本市会館(京都パルスプラザ)にて、第53回となる京都府農林水産フェスティバルを開催しました。

府内産農林水産物・加工品等の販売・展示コーナーや京の伝統野菜などを使った特別料理が味わえる京都食文化体験のほか、本年度は、府内の食品事業者・酒蔵による「京もの加工食品コーナー」を設置しました。

当日は約4万9千人が来場し、来場者からは、「家族で楽しめるイベントだった」、「日頃見かけない農林水産物が購入できてうれしい」などの声がありました。



大勢の人で賑わう会場

流通・ブランド戦略課 ブランド戦略係 TEL : 075-414-4941

特集
3

「京都府農林水産業人材確保育成戦略」に基づく取組を始動しました

京都府における農林水産業の人材確保・育成に関する施策を効果的に推進するため、令和7年3月に作成した「京都府農林水産業人材確保育成戦略」に基づき、令和7年度から、産学公民による新たな推進体制の整備や、農林水産業の分野を横断した新たな取組を展開しています。

人材確保・育成に向けた新たなネットワークの設立を宣言

産学公民の多様な主体との連携により農林水産業の人材確保・育成に取り組む「京都府農林水産業人材確保・育成ネットワーク」を設立し、その始動を宣言する「キックオフイベント」を、6月3日(火)にKBSホールにて開催しました。同イベントは、ネットワーク参画団体に加え、農林水産業の各分野の関係者等も多数参加し、非常に盛況となりました。

同イベントでは、日新電機株式会社の小畠顧問による講演や農林水産業各分野の生産者、大学、企業、民間研究機関の各分野の専門家によるパネルディスカッションなどを実施し、活発な意見交換が行われました。

今後、魅力ある京都府農林水産業の実現に向け、同ネットワークと連携し、育成すべき担い手に応じた多様なメニューの提供や施策の評価・検証を進めています。



知事あいさつ



小畠氏講演



パネルディスカッション



交流会

高校生・大学生が2泊3日で農・林・水の仕事を体験

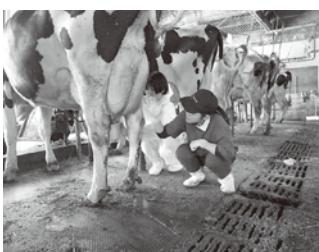
7月30日(水)～8月1日(金)に、京都の農業・林業・漁業の現場を幅広く見学・体験するとともに、地域の方々と交流する分野横断インターンシップを開催しました。

高校生・大学生の5名が参加し、初日は、農業体験として、茶園・茶工場の見学や、最新の農業機械への試乗など、2日目は畜産業体験として、搾乳、哺乳、給餌体験、林業体験として伐倒や林業機械作業の見学、丸太切り体験など、3日目は漁業体験として定置網漁業や魚の選別作業の見学などを行いました。

参加者からは「テレビなどでは知ることができない魅力が伝わった」、「どの分野も機械導入により効率化されているのが印象的だった」などの声が聞かれ、今回の取組を通じて、農林水産業への理解や関心が深まったことが伺えました。引き続き、各分野に特化したインターンシップへの誘導など、人材確保・育成のための取組を進めています。



農業機械の試乗



搾乳体験



丸太切り体験



定置網漁業の見学

経営支援・担い手育成課 新規就農・人材育成係 TEL : 075-414-4942

特集
4

「京都府豊かな森を育てる府民税」の課税期間を延長します<第3期に向けて>

「京都府豊かな森を育てる府民税」は、森林の多面的機能を維持・増進するため平成28年度に導入され、府民生活の安心・安全を確保する取組に活用されてきたところです。

令和7年度に第2期の最終年を迎ますが、災害の激甚化など、現在の森林を取り巻く状況を考慮すると、森林の多面的機能の維持・増進を図る取組を継続する必要があることから、課税期間を5年間延長し、令和8年4月から第3期(令和8年度～12年度)をスタートすることとしております。

第3期では、第2期に引き続き、持続可能な森林づくりに向けた施策を展開することとしており、その中でも、防災対策の強化と木材利用の拡大に重点的に取り組みたいと考えております。

また、毎年の事業の評価や使途の公表、さらには事業実施箇所にPR看板を設置するなど、取組についてより一層府民の皆様に解りやすく伝えていきますので、引き続き、皆様の御理解と御協力をお願いします。

第3期の概要

課税期間: 5年間 (令和8年度～12年度)

課税方式: 個人府民税均等割に上乗せする超過課税方式

課 税 額: 年額600円

使 徒: ①森林の整備及び保全、②森林資源の循環利用、③森林の多様な重要性についての府民理解の促進



林業振興課 森林政策・流通係 TEL: 075-414-5016

特集
5

緊急銃猟制度が令和7年9月から開始しました

令和7年4月に改正された鳥獣保護管理法が9月から施行され「緊急銃猟制度」が開始しました。

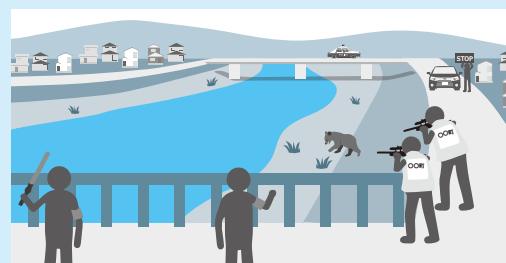
「緊急銃猟制度」とは、本来銃が使用できない市街地などに危険鳥獣(クマ類、イノシシ)が出没した際、市町村長の判断により銃猟を可能とする制度です。

府内においては、クマによる人身事故が令和2年度から6年連続で発生し、さらに、これまでクマの生息が確認されていなかった地域でもクマが目撲されています。

こうした状況を踏まえ、京都府では11月5日(水)に「ツキノワグマ対策連絡会議」を開催し、市町村に対して、各広域振興局単位で開催する対策会議を通じて、緊急銃猟の体制整備や、クマの出没抑制対策の徹底をお願いしたところです。

併せて、市町村が円滑に緊急銃猟の体制整備を行えるよう、緊急銃猟の実施や訓練、マニュアル作成などに必要な経費を令和7年度9月補正予算により支援するとともに、出没抑制対策として市町村が実施する放置果樹の伐採や緩衝帯の整備への支援も行っております。

引き続き、クマによる被害防止に向けた取組を進めてまいります。



緊急銃猟の実施例(河川敷)

緊急銃猟を実施するには、安全確保などの措置を十分に講じることが条件となります。

実施の際には付近の方の避難や交通規制を実施することがありますので、御協力をお願いします。

農村振興課 野生鳥獣係 TEL: 075-414-5022

特集
6

第77回関西茶業振興大会京都府大会を開催しました

関西地区で生産される茶の特徴を明らかにし、生産技術や品質向上を図るとともに、茶の国内需要の増進、関西茶業の振興、引いては日本茶業の発展に寄与することを目的に第77回関西茶業振興大会京都府大会を開催しました。

京都府での開催は6年ぶりで、8月6日(水)～8月8日(金)に行われた出品茶審査会では、「普通煎茶」、「かぶせ茶」、「玉露」、「てん茶」の各部で京都府産茶が農林水産大臣賞を受賞したほか、市町村ごとに与えられる産地賞においても相楽郡南山城村、綾部市、京田辺市、宇治市が受賞するなど好成績をおさめました。

また、11月15日(土)には、大会式典に併せて、「関西お茶まつり」を開催し、出品茶入賞茶の飲み比べや、石臼挽き＆合組体験などのワークショップに加え、お茶関連商品や特産物の販売などを実施し、参加者からは「高品質な入賞茶を味わうことができた」などの声もあり、茶の持つ魅力をPRできました。

今後も、生産者や関係機関と連携し、京都府産茶の需要拡大を図ってまいります。



「第77回関西茶品評会」出品茶審査会



「関西お茶まつり」抹茶でWelcome!!

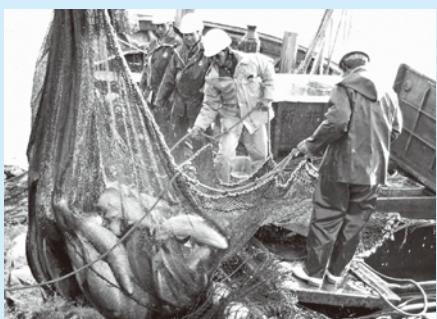
農産課 宇治茶・特産振興係 TEL : 075-414-4944

特集
7

「京都府スマート水産業推進協議会」を設立しました

近年、京都府の漁業者の間で、ICTやAIなどの最新技術を活用する機運が高まっています。例えば、遠隔式のセンサーを定置網に設置することで、潮の流れや網に入った魚群をセンサーが感知し、スマートフォンなどで確認できるため、効率的な漁獲が可能となります。非常に便利な装置ですが、普及に当たっては、導入費用が高く、使いこなすには習熟が必要であるなどの課題があります。

そこで、スマート水産業を実践したい漁業者を資金面・技術面で支援するため、7月に「京都府スマート水産業推進協議会」を設立しました。今後は、京都の海でスマート機器の導入を進めるため、研修会や先進地視察などを実施し、府内水産業の生産力向上に努めてまいります。



京都の海で行われる定置網漁



スマート機器で魚群を検知したときのスマホ画面(イメージ)

水産課 漁政企画係 TEL : 075-414-4992

トピックス

農作物の高温・渴水対策を支援しています

7月は府北部を中心に記録的な高温・渴水に見舞われ、農作物の生育不良などの被害が出たことから、8月4日(月)に「京都府農業渴水緊急対策会議」を開催し、揚水ポンプの導入や、浄化センターの放流水や工業用水を活用した農業用ため池等への給水などを緊急的に支援しました。

また、常態化する高温・渴水に備え、農業用ハウスの温度を下げる遮光資材や細霧冷房^{かん}、灌水を行うためのスプリンクラーなどに加え、高温下でも品質の良い米を出荷できるよう遠赤外線乾燥機や色彩選別機などの導入を支援しています。

生産から加工・流通の各段階における高温対策機器の整備を推進し、農業者の経営安定を図っています。



農業用ため池への緊急給水風景

農産課 京の米・豆・保険係、京野菜振興係 TEL : 075-414-4953

25市町村173地域で「地域計画」が策定されました



地域での話し合いの様子

目指すべき農地利用の将来像を示す地域計画については、3月末時点で、京都府内26市町村のうち25市町村の計173地域において策定されました。

地域の皆さんのが主となって農地の将来利用について考え、話し合いを重ねてきた成果であり、地域農業の持続的な発展に向けた重要な基盤となるものです。

今後は、策定された地域計画を基に、地域の皆さんと関係機関が連携しながら、担い手への農地の集積など、地域の状況に応じた計画のプラスアップや目標地図に基づく具体的な取組を積み重ねていくことが重要であり、府としてもその推進に向けて取り組んでいきます。

経営支援・担い手育成課 地域官農推進係 TEL : 075-414-4918

林大祭とミニ学校見学会を実施!

12月7日(日)、林業大学校にて、地域や林業関係者との交流を目的とした林大祭と、入学希望者を対象とするミニ学校見学会を開催しました。

当日は、350人を超える来場があり、地域商店による模擬店のほか、学生主体で企画・準備・運営した、手づくりのまな板や丸太椅子などの木工品販売、山の素材を使ったリース教室、森の中のロープアスレチックなどは、いずれも大好評でした。

また、初の試みとなる1年生によるチェーンソー実演や、2年生による広葉樹の葉を利用した口ウソクづくりなどのワークショップを実施し、来場者からは、「学生たちが頑張っている姿を見ることができて良かった」などの声が聞かれ、森林・林業の魅力に触れて楽しんでいただけた1日となりました。



チェーンソー実演の様子

京都府立林業大学校 TEL : 0771-84-2401

トピックス

EKIspot KYOTO、大阪・関西万博で京都府産水産物の魅力をPR!

EKIspot KYOTO、大阪・関西万博において、京都府漁業協同組合、京都府内水面漁業協同組合連合会、京都府立海洋高等学校などと連携し、府内産水産物の魅力発信に取り組みました。

EKIspot KYOTOでは、煮干し、わかめ、鮎関連商品を販売し、京都旅行のお土産として多くの方にご好評いただきました。

大阪・関西万博では、アカモクの展示や未利用魚を活用したブイヤベースの試食を行いました。ブイヤベースの深い味わいに足を止める来場者も多く、「こんなに美味しいとは知らなかった」という声が寄せられ、京都の海の恵みを身近に感じていただく貴重な機会となりました。

引き続き、イベントや水産課公式SNSを通じて、府内産水産物の魅力を発信していきます。



水産課公式SNS▲

万博会場、京都駅にて府水産物のPR

水産課 漁政企画係 TEL：075-414-4992

「食の安全と農林水産物生産の魅力」を開催!

府内産農林水産物への信頼感向上と消費者と生産者の相互理解を目的に、8月25日(月)にリスクコミュニケーション「食の安全と農林水産物生産の魅力」を開催しました。「食卓に届ける私の大切なこと」をテーマに農林水産物が消費者に届くまでの過程や思いを生産者から直接聞くことで、府民の農業への理解が深りました。

参加者からは「食を支えるのは生産者の献身的な姿勢だと感じた」との声もあり、府内産農林水産物への信頼が高まる機会となりました。今後も食の安全や農業への理解促進に取り組んでいきます。



「食の安全と農林水産物生産の魅力」の様子

【講演者】

小林 加奈子 氏 (耕種農家)
杉山 裕亮 氏 (畜産農家)

京都府HP▶

農政課 食の安全・食育係 TEL：075-414-5652

移住イベント「森を守り、山とともに生きる暮らし」を開催!

京都府が移住相談窓口を設置する、ふるさと回帰支援センター・東京にて、8月31日(日)に、「木」にスポットを当てた移住イベント「森を守り、山とともに生きる暮らし」を開催しました。

京丹波町で林業に携わる移住者と地域の方を講師に、桜・栗・杉・桧・柏の5種類の木の特徴を学びながら、選んだ種類の木で箸をつくるワークショップを実施しました。林業、建築、工芸などに関心のある方々が参加され、講師との交流や箸づくりを楽しんでいただきました。

今後も移住イベントの開催や情報発信などにより、地域の魅力を伝え、京都府への移住・定住を促進していきます。



先輩移住者の体験談を聞く様子



木の種類を選ぶ参加者

選んだ木を使ってみんなで箸づくり



農村振興課 移住・定住促進係 TEL：075-414-4906

トピックス

KYOTO地球環境の殿堂「未来会議」にてワークショップを実施

自然環境と京都文化との関係について府内の高校生・大学生が探究する KYOTO地球環境の殿堂「未来会議」の一環として、ワークショップを実施しました。

- 森林の有する公益的機能や森林保全の重要性について学ぶ森林づくり体験（6月8日(日) ハピロー！の森 京都）
- 地元漁業会社や京都府漁業協同組合などの協力による、定置網漁業体験や水産資源についての講習会
(8月18日(月)、19日(火) 府海洋センター、養老漁港)

本ワークショップを通じて、森林を守るために伐採など人の手を加えて整備することが重要であることや、京都の豊かな海で日々行われる漁業の様子、海の環境が変わりつつあることなどを学んでいただきました。

参加した学生たちは、国立京都国際会館において、「生まれた時よりも美しい環境を次の世代に引き継いでいきたい」と未来への提言が発信されました。



森林や漁業について学ぶ
参加者の様子

水産課
森の保全推進課

漁政企画係

モデルフォレスト推進係

TEL : 075-414-4992
TEL : 075-414-5005

「海業」を通じて京都の新しい海の賑わいを創出

京都府では、漁村の地域資源を活用し、観光や交流などを通じて賑わいを創出し、地域の所得と雇用につなげる取組、いわゆる「海業」を推進するため、市町や関係機関と連携し、京都府海業推進協議会を5月に設立しました。

漁業者の収入増と地域活性化を目指し、現在、府内7箇所の漁港で具体的な計画が進行中です。

今後、協議会が中心となり、漁港での食事提供、定置網漁業体験などの魅力をコンテンツ化し、多くの交流人口を呼び込むことで、豊かな漁村社会の実現を目指します。



船上で定置網の仕組みを学ぶ参加者たち

水産課 漁業漁村係 TEL : 075-414-4994

3泊4日で京都の畜産業を知る畜産体験ツアーを開催!



参加者がブラッシング体験
をしている様子

京都の畜産業の人材確保に向け、畜産に興味がある方を対象とした3泊4日の「畜産体験ツアー」を8月に計2回開催しました。

参加者13名(高校生10名、大学生2名、社会人1名)が肉用牛・乳用牛・養豚・養鶏の農場を見学し、餌やりやブラッシングなど、家畜の飼養や衛生管理に加え、チーズ作りといった畜産物加工も体験しました。

参加者からは、「いつか府内で就農したい」、「畜産の仕事のイメージが出来た」などの声が聞かれました。

今後も、畜産業の担い手確保を目指し、更なる理解醸成と魅力発信に取り組んでいきます。

畜産課 畜産振興係 TEL : 075-414-4981

シリーズ 農林水産技術センターの研究紹介

第22回

令和7年度に取り組んでいる研究をご紹介します

畜産センター／海洋センター

研究1 和牛肉の品質の見える化により、効率的な育種を可能にしました

府内の食肉事業者が重視する和牛肉の基準である「小ザシ」「モモ抜け」※については、食肉事業者が経験に基づき目視により評価を行っています。今回、京都府産和牛の育種を効率化するために不可欠な、評価の数値化を取り組みました。

まず牛肉の断面を撮影して画像データを点数付け(=指標化)し、これを従来の食肉事業者の評価と比較することで、5段階に評価することができました。

また、その結果と遺伝情報(DNA配列など)の関係を分析したところ、「小ザシ」「モモ抜け」の評価と遺伝情報に関連があると判明したため、交配による肉質改良が可能であるとわかりました。

今後は本成果を活用した効率的な育種と府内産和牛の品質向上に努めてまいります。



モモの断面画像を2値化処理し、白色部分(脂肪面積)の割合を「モモ抜け」の指標として算出。写真是その一例で、指標値は35.6、段階評価では4に該当。

※小ザシ：

サシ(脂肪交雑)が細かいこと。口当たりや食味に関係するとされている。

モモ抜け：

モモ肉の脂肪交雑のこと。モモ肉は枝肉内で多くの割合を占めるため重要視される。

農林水産技術センター 畜産センター 研究・支援部 TEL：0773-47-6494

研究2：高精度な急潮予測モデルを開発しました

府沿岸では台風や低気圧の接近・通過に伴って、「急潮」と呼ばれる突発的な速い潮の流れが発生し、漁業で用いる定置網の破損や流出等の大きな被害をもたらすことがあります。定置網は、長さ500m、深さ50mもあり、その被害額は数億円に及ぶこともあります。

海洋センターでは急潮被害の防止・軽減を目指し、令和5年度から、大学や漁業者と連携して高精度な急潮予測モデルを開発しました。同モデルは、海底の複雑な地形データや淡水流入・気象変動の影響を仮想空間上に高解像度・高精度に再現するもので、1週間先までの急潮の発生・挙動予測が可能です。

今後は実証を重ねて、効率的な運用を図ります。



海洋調査船「平安丸」搭載の海底地形
探査装置でデータを取得

農林水産技術センター 海洋センター 研究部 TEL：0772-25-3078

地域の取組

山城

森林・林業体感ツアーで 森のはたらきや木の魅力を伝えました

山城地域の森林・林業への理解を深めていただくため、和束町内で小中学生を対象に、間伐作業や木工などの体験プログラムを実施しました。

今回16回目となる本ツアーは、山城地域の木材利用と森林保全を考える「山城eco木材供給協議会」等と共に催し、町内の森林保全活動グループ「和束の森探検隊」の協力により開催しました。

当日は、スギ林内で20mを超える樹木の伐採を体験した後、木工教室で府内産のスギを使ったサイドテーブルを製作し、参加者から「木のはたらきや大切さを知った」、「木材利用の意義を感じた」といった感想がありました。

今後も、森林の適正な維持管理が図られるよう、木材利用の促進に向けたイベントの開催を通じて、魅力を発信してまいります。



府内産のスギを使ったサイドテーブルづくり

ノコギリを使ったスギ林の間伐体験



山城広域振興局 農林商工部 森づくり振興課 TEL : 0774-21-3450

南丹

京都丹波の“こだわり畜産”をもっと身近に ～魅力を発信するリーフレットを作成～

南丹広域振興局では、京都丹波(亀岡市、南丹市、京丹波町)管内にある「京のこだわり畜産物生産農場」が生産する地域の畜産物の魅力を広く発信する取組を進めています。

今回作成したリーフレットでは、各農場が工夫しているこだわりの飼育方法や、畜産物の特徴などを分かりやすく紹介しており、消費者に生産者それぞれの顔が見える畜産物として親しみを持っていただける内容となっています。

リーフレットは、道の駅や畜産物を取り扱う店舗などで配布し、観光客や地域住民の皆様に手に取っていただくことで、府内最大の畜産物産地である京都丹波の畜産物の魅力を広く伝えていきます。



南丹広域振興局HP
リーフレットをご覧ください



南丹広域振興局 農林商工部 農商工連携・推進課 TEL : 0771-22-0371

南丹

異常気象に負けない農業を目指して ～黒大豆の安定生産を支える現地研修会の力～

近年の夏季の高温、干ばつ、集中豪雨等の異常気象により、南丹地域では黒大豆の収量や品質が不安定となっています。また、生産者の世代交代に伴い、栽培管理技術の継承も課題となっています。

そこで、南丹農業改良普及センターでは、JA、市町などと連携して、定期的な栽培研修会を管内の現地ほ場で延べ21回開催し、苗づくりや土寄せ、排水対策、灌水、病害虫防除などの適正な管理についての情報提供の場づくりを行いました。

その結果、土の乾き具合に応じて適切に灌水するなど、効果的な栽培方法の普及が進み、生産者の管理技術が向上し、昨年よりさや付きも改善されました。

今後は、ICTを活用した栽培管理支援システムの検証や若手生産者組織への技術支援も計画中です。



黒大豆現地ほ場での研修会風景

南丹広域振興局 農林商工部 南丹農業改良普及センター TEL : 0771-62-0665

中丹

高品質な水稻種子の生産を目指して

福知山市夜久野町では、水稻に必要な種子を生産する採種が行われています。

採種には、京都府で管理している「原種」が用いられており、得られた種子は遺伝的に均一であるため、安定的な水稻生産の基盤となります。

令和7年度は採種の水田が135筆に及びましたが、栽培期間中は全ての水田を生産者とJA、市、府と一緒に見回り、均一な種子を得るための点検・確認を行いました。また、栽培講習会を実施し、技術指導や情報提供などを通じて、生産性の向上に努めています。

生産された種子は中丹管内だけでなく、京都府全体に供給され、府の水稻生産を支えています。今後も、消費者においしいお米を食べていただけるよう、高品質な水稻種子生産を支援してまいります。

京都府の種子生産・供給体制

母本維持・原原種生産(京都府農林水産技術センター農林センター)

原種生産(京都府原種農場)

種子生産(JA、採種農家) 夜久野町で実施

種子の買い上げ・需給調整(京都米振興協会)

一般栽培



栽培講習会の様子

中丹広域振興局 農林商工部 中丹西農業改良普及センター TEL : 0773-22-4901

丹後

丹後管内関係機関の総力を結集し渇水対策に取り組む ～浄化センターの放流水を農業用水に活用～

今年度は例年より3週間ほど梅雨明けが早く、7月の降水量が平年の約1割となり、一部の河川やため池などの水位が低下し、水稻や果樹にとって最も水を必要とする時期に農業用水の確保が困難となりました。

丹後農業改良普及センターでは、農業者からの農業用水の確保を求める声に応えるため、振興局とともに、市町や関係機関と連携し、宮津湾浄化センターや京丹後市の浄化センターの放流水を、水田や国営開発農地の貯水池に運搬し、水稻や果樹栽培に活用する取組を行い、渇水被害の軽減を図りました。

また、被害が報告された地点を集積した「渇水被害マップ」や、来年以降の渇水被害の発生リスクが高いと予測される地点を示した「重点観測地点マップ」を作成しました。今後、これらのマップを活用し、常態化しつつある夏の高温・渇水に対し、より早く対応できるような仕組みづくりを行っていきます。



浄化センターの放流水を取水する農業者



令和7年夏期高温・渇水による被害地点を示す水稻被害マップ

丹後広域振興局 農林商工部 丹後農業改良普及センター TEL : 0772-62-4308

丹後

「丹後フルーツフェス」で 丹後産フルーツと加工品をアピール

丹後広域振興局では、丹後産フルーツをはじめとした農林水産物の魅力発信と観光誘客に取り組んでいます。

令和7年9月15日(月・祝)に京都ポルタにおいて「丹後フルーツフェス」を開催し、旬の梨やぶどうをはじめ、丹後地域の自然に育まれたナチュラルチーズ、魚介類を使った缶詰や地元産ホップ使用のクラフトビールなどを販売しました。

連動企画として、京都ポルタ内「みのりカフェ」では京丹後産梨を使ったパフェを提供し、京都駅を訪れる観光客や買い物客に、丹後産フルーツが持つ豊かな食の魅力をアピールし、地域の魅力に触れていただく機会となりました。



丹後産フルーツの販売



PRブース

丹後広域振興局 農林商工部 農商工連携・推進課 TEL : 0772-62-4315

シリーズ \ 府内各地の“いちおしの食”を味わおう! /
 「食の京都TABLE」を紹介します ~第3回~

道の駅 京都新光悦村
 (南丹市)

~食の京都TABLEとは~

食の魅力を生かした観光誘客の拠点として、農林水産物直売所や道の駅など府内25施設を選定・PRしています



「道の駅 京都新光悦村」は京都縦貫自動車道園部IC出口を下りてすぐになります。京都市内からのアクセスもよく、名勝るり渓への玄関口に位置しています。

農産物直売所「安心・安全新鮮朝市」では地元産の野菜やお米を販売しており、甘くて艶のある「温心米(おんしんまい)」の他、周辺地域の名産品から京都府内の土産物まで人気の商品が豊富に揃っています。

自慢の園部産米を使ったお寿司やお弁当は地元の加工グループのみなさんの手作りです。また、杵でついたお餅もおすすめです。



駅内のカフェ「京都祇園フリアン」では地元食材を使ったメニューを提供しています。園部産コシヒカリと京丹波産卵「くろ丹波」を使った「たまごかけごはんセット」や、美山牛乳を使ったシュークリームなど、南丹地域の美味しいものがいっぱいです。



季節ごとに様々なイベントも開催しています。



「食の京都TABLE」府HP

最新情報は施設HPのほか、FacebookやInstagramなど各種公式SNSで御確認ください。

道の駅 京都新光悦村 検索

流通・ブランド戦略課 ブランド戦略係 TEL : 075-414-4941

参加無料

京の食 つくり手の 想いにふれて

きょうと 食の安心・安全 フォーラム

2026年2月13日(金) 13:30～15:30

開催場所 京都府立 京都学・歴彩館 小ホール
 ※オンラインでもご参加できます

詳しく述べ → QRコード

参加事業者
 鼓日
 三和鶴園
 奥村農林園

京都で農林水産業の担い手を目指しませんか!

令和8年度
農大・林大・海の民学舎の学生募集
 願書受付期間

農業大学校 一般入試(後期)

令和8年1月19日(月)～1月30日(金)

試験日：令和8年2月13日(金)

【お問い合わせ】0773-48-0321



林業大学校 一般入試(第3回)

令和8年1月16日(金)～1月30日(金)

試験日：令和8年2月13日(金)

【お問い合わせ】0771-84-2401



海の民学舎 一般入試(第3回)

令和8年1月13日(火)～3月2日(月)

試験日：令和8年3月13日(金)

【お問い合わせ】0772-25-3030



参加無料

令和7年度
未来につなぐ京の木府民会議全体会

府内産木材の利用促進に向けた講演会やワークショップのほか、第9回Woodyコンテストなどの表彰式を行います。
 併せて、全国公募で決定した本会議のロゴマークを発表します！

日 時 令和8年1月19日(月)13時～17時
 会 場 京都府庁旧本館旧議場・3号館講堂
 受 付 Web申込(1月9日(金)17時締切り)

QRコード
 詳細は→

発行／令和7年12月
 編集／〒602-8570

京都市上京区下立売通新町西入敷ノ内町京都府農林水産部農政課
 TEL : 075-414-4898 E-mail : nosei@pref.kyoto.lg.jp

京都府人権啓発イメージソング「世界がひとつの家族のように」は、「お互い支え合うことの大切さ」をイメージした歌です。歌い広め、「いま、わたしたちにできること」を考えてみませんか。



公式HPから視聴ができます▶